

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】 R.6.7.22

(文責 大子町立大子西中学校長 澤畑 孝也)

学校は生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、生徒にとって安全・安心な場所ではなくてはなりません。私たち教職員は、教育活動は、生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事として捉え、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

| | | | | |
|-----|------------------|--|-----|--------------------|
| 4月 | コンプライアンス全般 | | 11月 | 教職員として倫理 |
| 5月 | 健康保健安全関係（熱中症対策含） | | 12月 | 飲酒運転防止 |
| 6月 | パワーハラスメント | | 1月 | 交通事故防止 v |
| 7月 | 情報セキュリティ | | 2月 | セクシャルハラスメントとわいせつ行為 |
| 臨時 | 盗撮防止、不祥事ゼロに向けた取組 | | 3月 | 体罰防止 |
| 9月 | 部活動指導 | | | |
| 10月 | 公金等の取扱い | | | |

2 研修の様子



3 研修資料

「One IBARAKI」各号、新聞記事、教職員自作資料等

4 教職員の意見等

- ・不祥事が及ぼす周囲への影響をもっと一人一人が当事者意識で考えるべきである。
- ・「慣れ」が一番怖いので、様々な視点から物事を捉えるべきである。
- ・違和感や不思議な動きがあったら、周りに相談し、絶対に自分、同僚から不祥事ゼロを徹底したい。

5 対策内容

- ・定期的・継続的なコンプライアンス研修と啓発活動を全教職員で進めていく。
- ・「間が差した。」がないように、風通しの良い職場で声掛け合いながらの未然防止に努める。
- ・個人所有のスマホ、タブレットを学校で使用しないようにするための環境整備をする。(公務用スマホの支給等)